

民主党埼玉県第1区総支部



衆議院議員

たけまさ公一国会レポート



平成18年(2006年)

53

サイトへお越し下さい!

<http://www.takemasa.org>

携帯からもどうぞ!(i-mode版)

<http://www.takemasa.org/i>

ご意見をお待ちしています!(e-mail)

voice@takemasa.org

民主党代表に小沢一郎衆議院議員を選出
(4月7日)

行政改革推進法案などが審議、採択。

(4月3日・6日・11日・13日・17日・19日)

民主党代表に小沢一郎衆議院議員を選出(4月7日)

3月末の前原代表の辞任を受け、国会議員による投票を小沢一郎、菅直人両衆議院議員の間で行いました。結果は119対72で小沢一郎衆議院議員が代表に選出されました。また、4月11日の両院議員総会では、執行部はそのまま引き継ぐことも発表され了承されました。翌日からは、衆議院千葉7区補欠選挙が告示され、民主党再生のため反転攻勢のきっかけをと、党を挙げて取り組みました。

この1ヶ月半、メール事件とその後の対応ではご心配をおかけいたしました。心からお詫びを申し上げますとともに、あらためて得た教訓は、「野党第1党が政権交代の緊張感を政府与党に与え続けられない限り、与党議員でさえ分からないうちに政府がことを決め、そのつけや負担は国民に及ぶ」「政府への国会によるチェック力は与野党の切磋琢磨を通じて生まれる」ということです。

後半国会では、「教育基本法改正案」「国民投票法案」「防衛省設置法案」などの重要法案の提出が言われています。小沢代表のもと、国民の皆様に分かりやすい「対立軸」を明示してそれぞれの法案に対応してゆきます。

行政改革推進法案などが審議・採択 (4月3日・6日・11日・13日・17日・19日)

小泉内閣の目玉といわれた法案が審議に入りました。当日は、総理初め全閣僚と質疑が行われました。私からは、政府案の5本柱の一つである「独立行政法人化の推進」を中心に質しました。そして、従来の主張である官製談合防止法の与野党改正案の審議 独立行政法人5年の評価 気象庁の独法化の必要性 独法役員天下り規制について 高齡・障害者雇用促進機構の200億円金銭信託について 新国立劇場の地価総額が2600億円下落したことについてです。

4月6日には、前回、政府案の柱にすえた独法の問題点を掘り下げました。政府の退職公務員に国立大学採用の教員や、国立大学採用後文科省に移ったり、

政府の研究所長になった人を含めないのはインチキだ 高齡・障害者雇用促進機構への厚生労働省からのお金の流れと・天下りについて 同機構の随意契約比率の高さについて 同機構の非常勤職員人件費が総人件費の2割を超えることについて 環境省発注契約の93%が随意契約報道の資料提出 雇用政策の地方分権の必要性 特に、求職情報の自治体への提供について 独法の評価委員の公平性についてです。4月11日には、前回要求の環境省資料に基づき、官房長官等担当大臣に 全契約の93%随意契約の感想 随意契約2700件相見積もりはすべてとっていない理由 公益法人自然環境研究センターについて 全省庁の随意契約資料要求 独法への国家公務員役員出向の実態と禁止についてを聞きました。

4月13日には、再び総理出席のもと 環境省全随意契約相見積もり取らない理由 財務、農水、厚労各省の随意契約率と相見積もり率 なぜ3省庁とも相見積もり一切とらないのかを質し、4月17日には参考人質疑に立ちました。

4月19日には、民主党案の答弁に立ち、随意契約・独法についてを行い、締めくくり総括質疑では、総理はじめ全閣僚に対して、退職公務員について 随意契約について 予決令について質しました。

そして討論、採決にて政府案が可決、民主党案は否決されました。

表1 行政改革推進法案と民主党案の比較

	政府	民主
公務員制度、総人件費改革	<ul style="list-style-type: none"> ・5年で国家公務員5%以上純減 ・公務員の労働基本権について幅広く検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年で国家公務員人件費2割以上削減 ・公務員の労働基本権の原則回復
特別会計改革	<ul style="list-style-type: none"> ・5年をめどに財政再建に20兆円程度寄与 ・31特別会計を2分の1から3分の1に 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間で財政健全化へ30兆円程度寄与 ・3特別会計に整理
政策金融改革	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度に政策金融機関を再編し新たに1機関設立 ・商工組合中央金庫と日本政策投資銀行は完全民営化 ・公営企業金融公庫は廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度に政策金融機関を再編し新たに1機関設立 ・商工組合中央金庫は株式会社化 ・日本政策投資銀行は完全民営化 ・公営企業金融公庫は廃止
独立行政法人改革	<ul style="list-style-type: none"> ・閣僚は所管の独立行政法人の組織業務を点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人の長の公募を義務化し、天下りの受け皿にしない ・随意契約、指名競争入札原則禁止
資産、債務の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ・10年間で対GDP比半減 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産、債務を管理する機関の検討

民主 党

党員・サポーター募集

党員とは・・・民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上の方ならどなたでもなることができ、党の運営や活動、政策づくりに参画することができます。党費は年間6,000円です。

サポーターとは・・・民主党を応援したい18歳以上の方ならどなたでもなることができ、党主催の講演会・勉強会・イベント・選挙ボランティアに参加することができます。会費は年間2,000円です。

また、党員、サポーターとも9月に予定しています党代表選挙で投票することができます。両者とも5月15日までにお申し込みください。

ご興味のある方はお気軽に電話、ファックス、メールにてお問い合わせ下さい。

衆議院議員たけまさ公一事務所 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和3-6-11-2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

e-mail voice@takemasa.org

先着45名様締め切り！

国会見学会

日程 5月24日(水)・6月15日(木)

集合 8時30分 北浦和図書館前
浦和区北浦和1-4-2 旧中山道沿い
(北浦和駅東口 徒歩5分)

会費 **3500円**
(昼食バス代含む)

行程
議事堂 昼食 六義園見学
(昼食時間などでは、武正も懇親
に合流する予定です。)

第54回

たけまさ公一と語る会

テーマ 改革VS増税

日時 4月30日(日) 14時～16時

場所 さいたま市民会館うらわ 101号室
バインズホテル裏・浦和区仲町2-10-22 TEL
048-822-7101

会費 無料

気軽な意見交換会です。皆様のご参加お待ちしております。

衆議院議員たけまさ公一プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成元年松下政経塾卒業。平成11年4月、埼玉県議会議員2期当選。平成17年9月、衆議院議員3期当選。民主党NC(=次の内閣)外務総括副担当、民主党選対委員長代理、民主党埼玉県連幹事長。衆議院外務委員会筆頭理事。

たけまさ公一事務所

さいたま事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル 2F TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312号室 TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715